

## 言語聴覚士（火曜日・木曜日）



八国苑開設25周年おめでとうございます。

私の担当する、言葉の不自由な方々のグループリハビリ“八国の森の会”は毎週火曜日と木曜日に開かれ、この5月で1630回を超えました。八国苑開設当初から続いており、25年前からずっと参加されているメンバーの方もいらっしゃいます。言語療法を行っているデイサービスが少ない中、長い歴史のあるこの会に携わることができて、大変光栄に思っています。

会のメンバーは4～6名、職員の方1名とベテランボランティアさん2名にも手伝っていただき、口のリハビリ、音読、会話、言語ゲームなどを行っています。言葉の障害には色々な種類があり、言いたい言葉が出てこない、言われたことが理解しにくい、読めない、書けない、呂律が回らない等が重複し、メンバーお一人おひとりの障害も重症度も様々ですが、お互い苦手なところを助け合ったり、辛さを共感し合ったりしながら、楽しく活動しています。言葉を想起する練習などは一人では数語しか思い出すことができませんが、メンバーの力を合わせれば大きなホワイトボードがいっぱいになるくらいたくさん言葉が出てきて、グループ訓練ならではの醍醐味があります。

季節ごとに調理（春：いちご大福、秋：蒸しパン、冬：白玉汁粉）のプログラムも行い、普段は料理をしない男性メンバ

一にも好評です。

言葉の障害は外見ではわからないので、周囲からは理解されにくく、社会に進んで出ることをためらいがちな方々の、仲間作りの場にもなっています。

これからも地域で暮らす言葉の不自由な方々に「八国苑では安心して自分の事を話すことができる」と思っていただけのように、また、そういう方々が地域社会とつながっていくきっかけになるような八国の森の会にしていきたいと思えます。

